

■ F D C尾州プロモーション Web サイト制作仕様書

公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター（FDC）の Web サイトとは別に尾州プロモーション単独 Web サイトを制作します。尾州産地及び産地企業の特長や魅力を PR するためのポータルサイトとして、尾州ブランドの確立のための基盤をつくります。

1. 現状と課題

愛知県尾張西部地域は、尾州産地と呼ばれ古くから繊維産業で栄えてきました。明治時代には毛織物生産に取組み、昭和の初めには毛織物王国と言われるまで発展し、地域経済を支えてきました。平成に入ると産業のグローバル化やファッションの多様化、ファストファッションの台頭により、現在では尾州産地の繊維工業の生産高はピーク時の1/4まで縮小しています。それでも、地域資源である尾州の高級毛織物をはじめ、多種多様な糸や染色整理加工による意匠力や機能性に優れた尾州の生地は、日本はもとより世界のファッション産業に供給され、高い評価を得ています。

しかしながら、尾州産地のビジネスは、製造品が中間素材であることから、基本 B to B で成り立っているため、一般の消費者には尾州産地の価値はほとんど伝わっていませんし、世界で活躍する企業であっても一般的に知られることはありません。その理由の一つとしては、尾州の生地を使うアパレルや小売の事業者にも尾州産地の価値が理解されていない、あるいは、理解されていても、その価値や素材メーカーを消費者にまでは伝えることができていないことが考えられます。

2. 目的

尾州産地の認知度を向上させるためには、尾州産地の価値を誰にでもわかるように伝える必要があります。

そこで、尾州産地の概要や特長、その価値を体現する産地企業の魅力が、ひと目で伝わることを目指し、発信力の強化を図ります。

「尾州マーク」を効果的に活用し、尾州の生地、その生地による製品を使っていただく人を増やし、尾州産地と産地企業の認知度を高め、最終的に消費者に愛される尾州ブランドを確立します。

3. 制作内容

1) 尾州産地の生産背景を伝える動画を制作すること。

※尾州産地の特長である分業体制の紡績、撚糸、糸染め、織り、編み、染色整理加工、補修など多くの工程において、それぞれ手間暇をかけてつくられていることを説明する。

2) 「尾州マーク」のページを構成すること。

※FDC Web サイト内の既存ページを参照する。

3) 企業紹介のページを構成すること。紹介内容は以下の点に注意する。

※その企業の現場を動かしている人の声を掲載し、現場の生地作りの哲学、その人が持つ“キーワード”を見つけ出す。

※仕事内容に限らず、その人の“人となり”がわかるような部分を引き出して、より親しみやすさを感じるページにすること。

※PRの主なターゲットとしては、B to Bを想定し、産地企業が具体的に何を得意としているかを明確にし、ビジネスマッチングに寄与する構成にする。

※業種ごと、目的別、五十音などで企業検索を容易にする。

※タグやキーワードで検索できるような機能を付ける。

※企業情報については、所在地、業種、メンズ、レディースなど基礎的情報のほか、可愛い、面白いなど感覚的なワードはFDCにて聴取する。

- 4) 実際に尾州の素材を使って製品を作っているデザイナーなど（様々なジャンルから10名）に尾州素材の良さを語ってもらうページを制作すること。（尾州素材を使う理由を聞き出す。インタビューに徹底的にインタビューしてもらう。）
- 5) 尾州の生地で作られた最終製品の特集ページを構成すること。
- 6) 環境に優しい取り組みを行っている企業の特集ページを構成すること。
- 7) 上記、企画・コーディネートを行い、Webサイトのデザイン、システム、データ原稿の制作から納品まで監理すること。
- 8) 納期は、平成29年11月30日とする。
- 9) その他、仕様が無いことはFDCと協議する。

★参考（イメージ）：泉州コンシェルジュ (<http://www.senshu-concierge.com>)

□予算：1,944,000円（うち消費税144,000円）